

平成23年度
実施事業

事務事業名 担い手育成総合支援協議会活動負担金

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	2	自然を活かした産業の育成
施策	1	特色ある農業・漁業の推進
小分類	3	ゆとりある酪農・畜産経営の促進
主要な施策	1	新規就農者、担い手農業者への支援
事務事業番号	006	事業開始年度 平成 17 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	農林水産 G
-----	-------	-------	--------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	他団体と設立した担い手育成に取り組む協議会の活動を通じ、農業の担い手の育成・確保を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	市・農業委員会・伊達市農協・農業者を委員とし、登別市担い手育成総合支援協議会を設立し、認定農業者制度の普及・推進、農業経営改善計画の作成指導、認定農業者等の経営診断、農業経営の法人化相談・指導、集落営農の組織化に向けた合意形成活動の支援などを行う。 認定農業者制度とは：農業経営基盤強化促進法に基づき、効率的で安定した魅力ある農業経営を目指す農業者が自ら作成する農業経営改善計画（5年後の経営目標）を、市が農業経営改善計画認定審査会を開催して認定し、その計画達成に向けて様々な支援措置を講じていこうとするものです。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	農業における担い手育成総合支援協議会の果たす役割は、大きいことから今後も継続して事業を行う。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別地域担い手育成総合支援協議会規約

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	30	30	10	10	10
事業費 合計			30	30	10	10	10

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	認定農業者	人	目標値	18	19	20	21	22
			実績値	2	1			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>認定農業者制度の普及、推進があまりなされていないが、</p>	<p>認定農業者制度の普及、推進が行われ、認定農業者数が増えている。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）			《Check》
1. 事務事業の妥当性について			
<p>市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？</p>	<p>市が主体に行うべき事業である</p> <p>民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である</p> <p>国、道、他団体等との連携や広域化が可能である</p> <p>国、道、民間等の事業と重複・類似している</p>	<p>判断理由及びその他所見</p>	<p>これからの農業施策において、担い手である認定農業者の確保・育成は必要な事業であり、妥当である。</p>
2. 事務事業の必要性について			
<p>市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？</p>	<p>市民、団体等から具体的な要望がある</p> <p>市民アンケートの結果から必要性が高い</p> <p>社会情勢、地域事情等から必要性が高い</p> <p>市民の大部分が関連することから必要性が高い</p>	<p>判断理由及びその他所見</p>	<p>地域農業に認定農業者が果たす役割は重要である。</p>
3. 事務事業の効率性について			
<p>事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？</p>	<p>低予算、少労力で高い効果をあげている</p> <p>市で実施するほうが民間委託より効率性が高い</p> <p>多額の経費や労力を要するがやむを得ない</p> <p>将来的に効率性を向上できる</p>	<p>判断理由及びその他所見</p>	<p>補助金により、認定農業者制度の普及、推進がなされている。</p>
4. 事務事業の成果について			
<p>目的を達成するための成果はあがっていますか？</p>	<p>成果指標の向上が見られる</p> <p>市民、団体等の声から成果を感じられる</p> <p>目に見える形で成果があがっている</p> <p>成果の把握は困難である</p>	<p>判断理由及びその他所見</p>	<p>認定農業者が増える傾向にあるので成果は上がっている。</p>

担当グループによる評価		《Check》
維持	<p>左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）</p>	<p>新たな食料・農業・農村計画により、効率的かつ安定的な農業経営及びこれを目指して経営改善に取り組む農業経営者を育成・確保することが急務である。</p>

行政評価会議による評価		《Check》
維持	備考	